

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
① 中心部は拠点性の面でかなり整備をされているが、吉舎町では生活機能の低下が表れている現状の中で不安な日々を送っている。吉舎町における10年後の具体的な展望を伺いたい。	幹線国道184号が通り、来年3月には尾道自動車道が完成します。この利便性を重点的な取り組みの一つにしながら地域で長く引き継がれてきた吉舎の良さを組み合わせて、人口減少の対策・定住に向けて真正面から取り組むことを行政がしっかりとやりながら、地域の皆さんと一緒に地域を守っていこうという気持ちで進めています。
② 過疎化、高齢化、人口減少の中、吉舎町でも拠点性が崩壊し、地域のコミュニティも希薄化し、安全・安心の衰退への懸念を持っている。豊かな自然と文化、恵まれた教育環境のもと、子育て世代の若者に魅力を感じてもらおうような周辺地域の生活環境をどのようにつくっていくのか。	1点目は定住対策です。地域と連携したネットワークづくりにより、市民の皆さんとともに行動していきます。 2点目は地域応援隊の発足です。 3点目は地域の生活拠点を守る取り組みです。皆さんの暮らしを守る買い物や公共交通・防災・医療など広域で守る機能と地域で守る機能の役割分担を明確にし、地域拠点・生活拠点の促進をしていきます。
③ 若者の流出を防ぎ優れた人材の確保を吉舎町でどのようにつくっていくのか。	進学や就職で都会へ出た若者をいかにふるさとへ連れて帰るかが大きな課題です。現在、「ヤングライフおたより」で情報発信を進めています。また県内の大学を訪問し地元企業や就職のPRをしています。
④ 吉舎町は高齢化率が42%で75歳以上が4分の1以上を占めている。さらに私化、自分化の傾向によりコミュニティ性が希薄になっている。これらの厳しい状況で主体的にまちづくりに取り組む人材をどのように増やしていくのか。	定住対策を含め人口減少の緩和に取り組んでいますが、吉舎町でも歴史・文化を大事にし、まちづくりビジョンに沿って市も行政責任を果たしながら一緒に方向性を考えていきます。
⑤ 住民自治活動は自立自助という状況であるが住民には負担感が増している。まちづくりの推進の担い手になるには限界がある。行政の人的支援、財政支援が必要ではないか。	市民と行政の適切な役割分担、協働の在り方が、変化が厳しい時代の中でますます問われていくと認識しています。行財政改革の中で社会の変化を的確につかんだ政策の選択と重点化の一つとして、市民の力を引き出し地域主役の地域づくりを推進するという項目を設けています。協働の在り方をどのように構築していくかが問われていますが、しっかり協働できるような行政の職員の在り方が一

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
	つの視点になると思います。
<p>⑥ 地域応援隊が設置されるが、地域担当職員制度は地域と行政による参画と協働という相互実践につながっていく。職員が地域へ出てお互いに課題を共有し働くことにより政策を新しく創り出し市民満足度を高めていくのではないか。</p>	<p>地域の課題に正面から向き合い、地域と行政の連携と信頼関係を築きながら、これから10年の地域をともに考え創っていくという思いで地域応援隊を立ち上げます。</p> <div data-bbox="1048 651 2069 699" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域応援隊に関しては作木会場の②の回答と同じ。</p> </div>
<p>⑦ 学力調査の結果、全国平均、三次市平均、各校の平均の公表はどうなっているのか。</p>	<p>1月には市の学力到達度検査、4月には文部科学省の全国学力調査、6月には県の学力調査を実施しています。これらの結果は市のホームページや広報紙で公表しています。各学校の公表は人数が少なく個人が特定されるような場合は、注意しながら点数だけでなく子どもたちの優れている点や弱い点、改善点など学校だよりやホームページで公表しています。学校別に一覧表にして公表することはしていません。</p>
<p>⑧ 防災のメール発信について、市の危機管理課が発信することとなっているが、日曜・祝日・夜間は届いていない。備北地区消防組合の通信指令センターは24時間対応なので緊急時の発信基地をそこへ設置できないか。</p>	<p>持ち帰り検討します。</p> <div data-bbox="1048 1007 2069 1337" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成25年12月から開始した一斉メールは、気象情報や避難指示などを広く周知することを目的としています。災害が予測される場合、例えば大雨・洪水注意報が発令された時点から市職員が待機しますのでそこから発信します。</p> <p>火災発生時の消防団員への連絡は、備北地区消防組合から方面隊長に連絡し、そこから各団員へ出動の指示を出しています。火災発生時における消防団に対する一斉メールの配信にあたっては、情報提供と指示指令の区別を明確にして取り扱う必要があり、システムの機能も確認しながら、消防署と消防団も含めた中で協議していきます。</p> </div>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
⑨ 合併後10年、地域応援隊を設置するといいいながらも地域の問題や改良などの要望がほとんど予算なしでカットされているように感じるがいかがか。	支所へ声を伝えていただきたいと思います。できることはできる、できない状況はそれをお返ししていくことで信頼関係を築いていきます。
⑩ 吉舎中学校区内の登下校の安全確保。 尾道松江線の部分開通により国道184号や国道につながる道路の交通量が増えている。児童・生徒にとって大変危険である。国道および通学路における安全対策を講じていただくようお願いする。 ・上下別れから吉舎中学校までの歩道が狭い。 ・八幡地区国道184号を自転車横断するときの見通しが悪い。 ・通学路の防犯灯の整備	<p>児童・生徒にはルールを守った自転車の乗り方や歩き方をするよう校長会を通じて徹底しています。学校やPTA、市教委では登下校時の危険箇所等の安全確保について検証していきます。</p> <p>また、ハード面では国道の管理者である広島県、市の土木課、支所、教育委員会とが一体となり、三次警察署との調整をとりながら具体的に現地の確認や協議を進めていきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。</p> <p>一般国道184号上下分れ交差点から吉舎中学校までの区間については、吉舎中学校にも近く、国道の両側に歩道を整備している。要望の側の歩道は幅員が狭いが、南側の歩道は幅員が広いので、こちらを利用するなど通学路の見直しを含めて検討していただくよう協議しました。</p> <p>八幡地区の一般国道184号については、曲線部で非常に見通しが悪い個所で、スピードを出して走行する車両が多いことを確認しました。自転車横断帯を世羅の直線側に移設する方向で対応していただくよう協議し、平成27年1月中には移設工事を実施するよう県から報告を受けました。</p> </div>
⑪ 県の土砂災害の調査について安田、桧、川ノ内の3地区が対象になっている。これらの調査情報はどのように活用されるのか。	調査後、土砂災害の危険箇所（警戒区域・特別警戒区域）等を示したハザードマップを作成し地域に配布しますので、素案作成の段階と配布時に地域住民全員を対象としたワークショップと説明会を開催し、詳しく内容説明を行います。
⑫ 吉舎町田尻地区は過疎の地域ではあるが、最近若い家族が転	支所が現地を確認させていただきます。

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【吉舎会場】

テーマ

(1) 10年後の吉舎町を見据えて

平成26年7月15日(火) 会場名 吉舎生涯学習センター

意見・要望	回 答
<p>入ってきて子どもが増えた。周りの道を車がスピードを出して走るので子どもや高齢者にとって危険である。何か対策をとってほしい。</p>	<p>標識は公安委員会の管轄ですので要望するよう計画しますが、交通量が絶対的に少ないことなどから難しいのが現実です。</p> <p>迅速で確実な対応策として地域で簡易な看板等を設置することについてもご検討いただきますようお願いします。</p>
<p>⑬ 吉舎町は平成27年度から音声告知放送になるということだが、無線放送は残すのか。地元説明会はいつごろどのようにするのか。</p>	<p>現在、本市では防災情報の伝達システムは防災無線、オフトーク、音声告知の3種類で行っていますが、老朽化や業者サービスの停止などにより音声告知放送を選択しました。無線放送は残しません。ご理解をいただきたいと思えます。</p> <p>説明会は今年度、君田、三和、甲奴を予定しています。吉舎は来年度整備を予定していますので、説明会等は来年度行う予定です。</p>
<p>⑭ 木材バイオマスの利用計画があるのか。</p>	<p>再生エネルギーの見地から検討していくべきであると考えています。</p>
<p>⑮ 安田地区絶滅危惧種のダルマガエルが40匹から2,500匹までに増えた。また山野草について広島県のレッドデータブックにあるセツブンソウ、カザグルマやユキワリイチゲは九州や横浜方面から見物に来られる。この地域は県内沿岸部の花の北限であり北部の花の南限でもある。これらを保護するために地元で頑張っているが盗掘に大変苦慮している。野生生物の保護条例をつくってほしい。</p>	<p>現在、市の鳥にブッポウソウを追加したいと考えています。それらを包含した中で絶滅危惧の動物、植物を大切にしないといけないと思っており、保護条例の制定を含め検討していきます。</p>
<p>⑯ 市役所の事務的ミスや丁寧でない対応などがたびたび発生している。職員は市民レベルの優しく正しい仕事をしてほしい。</p>	<p>大変ご迷惑をおかけしています。今後は職員の適切な対応について、さらに徹底していきます。</p>